



□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会

□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98

□ TEL 028(677)5033

□ <http://www.hokoren.com>

□ E-Mail : [information@hokoren.com](mailto:information@hokoren.com)

□ 編集責任者 渡辺 信夫

## ■ 立地企業景気動向調査を実施

1月7日、工業団地に立地する企業 102 社を対象に景況調査を実施しました。これは3月2日（月）に開催する栃木県知事との意見交換会で、当工業団地立地企業の業況や県に対する要望を説明する際の参考とします（開催日は急遽延期になりました）。

調査には 40 社（回答率 39.2%）から回答をいただきました。その集計結果は以下のとおりです。

### ◆質問1 今期状況と来期の見通し

(1) 今期（令和元年 10～12月）は

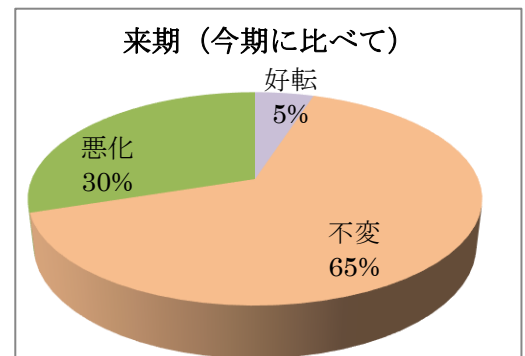
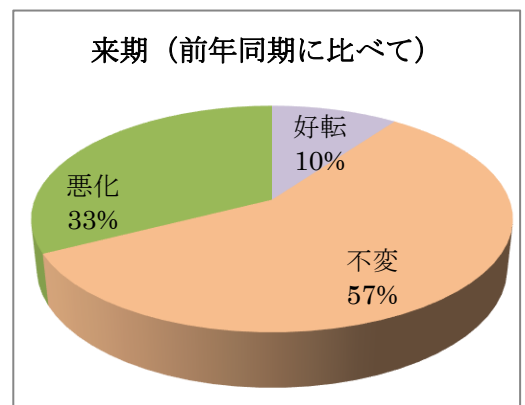
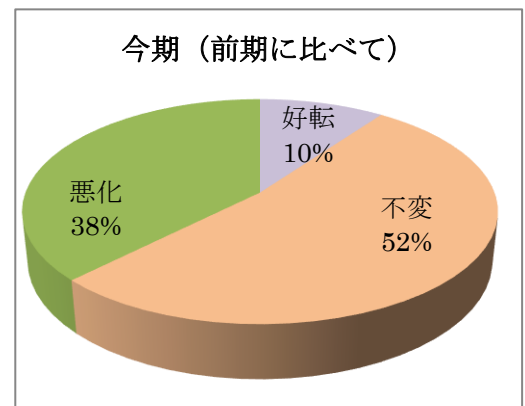
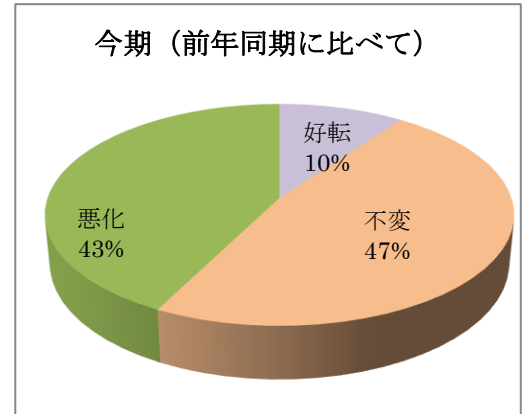
- ① 前年同期と比較して「不変」は 47%（19 社）で前年度比 10.2 ポイント減、「悪化」は 43%（17 社）で前年度比 34.8 ポイント増、「好転」は 10%（4 社）で前年度比 24.6 ポイント減でした。
- ② 今年前期（7～9月）との比較でも「不変」は 52%（21 社）で前年度比 9.0 ポイント減、「悪化」は 38%（15 社）で前年度比 29.8 ポイント増、「好転」は 10%（4 社）で前年度比 20.8 ポイント減でした。

(2) 来期（令和2年 1～3月）の見通しは

- ① 前年同期と比較して「不変」57%（23 社）で前年度比 11.7 ポイント減、「悪化」は 33%（13 社）で前年度比 20.9 ポイント増、「好転」は 10%（4 社）で前年度比 9.2 ポイント減でした。
- ② 今期（10～12月）との比較では「不変」は 65%（26 社）で前年度比 2.3 ポイント減、「悪化」は 30%（12 社）で前年度比 14.6 ポイント増、「好転」は 5%（2 社）で前年度比 12.3 ポイント減でした。

このように、今期は前年同期に比べて「好転」、「不変」が減少し、「悪化」が大幅に増加していることから、経済環境が悪化している状況であることが分かりました。

また、来期は「好転」の見方が減少し、「不変」や「悪化」と見る企業の割合が高くなっており、先行きについて慎重な見方をしている状況がうかがえます。



◆質問2 設備投資内容は

(1) 今期の設備投資状況は、「実施した」が57.5% (23社) で前年度比4.0ポイント減でした。内容は複数回答で、

①車両・運搬具 23.8%、②付帯設備 19.0%、③その他 16.7%が上位でした。「実施なし」は42.5% (17社) でした。

① 実施した23社 ※ %は複数回答42の割合 (前年度比ポイント)

|   |        |     |        |        |
|---|--------|-----|--------|--------|
| 1 | 土地     | 5社  | 11.9 % | (+5.0) |
| 2 | 建物     | 4社  | 9.5 %  | (+0.9) |
| 3 | 建設機械   | 3社  | 7.1 %  | (-1.5) |
| 4 | 車両・運搬具 | 10社 | 23.8 % | (+4.8) |
| 5 | 付帯設備   | 8社  | 19.0 % | (-5.1) |
| 6 | OA機器   | 3社  | 7.1 %  | (-3.2) |
| 7 | 福利厚生施設 | 2社  | 4.8 %  | (-2.1) |
| 8 | その他    | 7社  | 16.7 % | (+1.2) |

② 実施していない。

|  |      |     |        |        |
|--|------|-----|--------|--------|
|  | 実施なし | 17社 | 42.5 % | (+4.0) |
|--|------|-----|--------|--------|

(2) 来期の設備投資計画は、「計画あり」が52.5% (21社) で前年度比5.0ポイント減でした。内容は複数回答で、

①付帯設備 20.9%、①その他 20.9%、③車両・運搬具 14.0%が上位でした。「計画なし」は47.5% (19社) でした。

① 計画している30社 ※ %は複数回答54の割合 (前年度比ポイント)

|   |        |    |        |        |
|---|--------|----|--------|--------|
| 1 | 土地     | 3社 | 7.0 %  | (+7.0) |
| 2 | 建物     | 4社 | 9.3 %  | -      |
| 3 | 建設機械   | 5社 | 11.6 % | (+6.0) |
| 4 | 車両・運搬具 | 6社 | 14.0 % | (-8.2) |
| 5 | 付帯設備   | 9社 | 20.9 % | (-5.0) |
| 6 | OA機器   | 4社 | 9.3 %  | (-1.8) |
| 7 | 福利厚生施設 | 3社 | 7.0 %  | (-2.3) |
| 8 | その他    | 9社 | 20.9 % | (+4.2) |

② 計画していない。

|  |      |     |        |        |
|--|------|-----|--------|--------|
|  | 計画なし | 19社 | 47.5 % | (+5.0) |
|--|------|-----|--------|--------|

今期の設備投資で注目したのは、前年度同期の調査で「土地」が前々年度と比較して3.1ポイント増でしたが、今年度の調査でも「土地」への投資が11.9% (5社) あり、前年度比5.0ポイント増になっていることです。また、「車両・運搬具」は23.8% (10社) で前年度比4.8ポイント増、「その他」は16.7% (7社) で前年度比1.2ポイント増となっています。

このように、全体的には設備投資は微減していますが、「土地」や「車両・運搬具」などの設備投資は微増している実態が把握できました。

また、「実施していない」と回答した企業は42.5% (17社) で、前年度の38.5% (20社) と比較して4.0ポイント増加していることから、設備投資を控えた企業の割合が増えていることが分かります。

来期(令和2年1月~3月)の設備投資計画は、設備投資の計画がある企業は52.5% (21社) で、前年度の57.5%と比較して5.0ポイント減となっています。

こうした中、「建設機械」が前年度比6.0ポイント増、「土地」が前年度比7.0ポイント増、「その他」が前年度比4.2ポイント増となっていますが、これら以外は減となっており、設備投資を控える傾向であることが分かります。

設備投資を「計画していない」企業は47.5% (19社) で、前年度の42.5% (22社) と比

較すると5.0ポイント増となっていることから、設備投資を控える企業の割合が増えていることが分かります。

今後、消費税増税や台風被害による影響に加え、新型コロナウイルス拡大による経済への影響が懸念されます。

◆質問3 今期直面している経営上の問題点は

「従業員の確保が難しい」、「人件費の増加」、「熟練技術者の確保難」が上位に選ばれた項目で、人手不足は年々深刻さを増している状況が明確になっています。

◆質問4 栃木県に対する要望については、次のような記述がありました。

- ① 交通渋滞対策として板戸大橋の4車線化と前後の道路の4車線化
- ② 交通渋滞対策として工業団地までの公共交通機関（バス等）の運行
- ③ 交通渋滞対策として野高谷町交差点等の信号サイクルの最適化
- ④ 中小企業の賃金アップための対策を国に要望
- ⑤ 人材確保支援
- ⑥ LRT 工事に伴う交通渋滞緩和対策と有効な情報の発信、工事の早期終了

## ■ 巨大地下神殿を視察

2月5日開催した環境整備部会と安全衛生部会主催の優良企業視察合同研修会に16社から22名の皆様が参加されました。

研修先は昨年実現できなかった日本が世界に誇る防災地下神殿「首都圏外殻放水路」で、念願叶って壮大なスケールを体験することができました。

春日部市内を流れる中川・綾瀬川の流域は、昔から浸水被害に悩まされてきた地域で、現在も利根川・江戸川・荒川の大河川に囲まれ、水がたまりやすい皿のような地形です。放水路は洪水を地下放水路にため排水する施設で、国道16号線の地下約50mに建設されています。

施設は水を地下に取り込む「立坑（深さ約70m・内径約30m）」、水を流していく「トンネル（内径約30m・全長6.3km）」、水勢を弱めスムーズな流れを確保する「調圧水槽（地下神殿）」、水を吐き出す「ポンプ設備」などで構成されています。

調圧水槽は地下トンネルから流れてきた水の勢いを弱め、江戸川へスムーズに水を流すため、地下22mの位置につくられた長さ177m、幅78m、高さ18mにおよぶ巨大水槽です。長さ7m、幅2m、高さ18m、重さ500tの柱59本が水槽の天井を支えている光景は、まさに地下にそびえる地下神殿を思わせます。

この施設は平成5年3月に着工、平成14年6月に一部供用開始、工事費約2,300億円で平成18年6月に完成し、全川での供用が開始されました。平成14年から平成27年にかけて100回稼働（年平均約7回）し、昨年の台風19号などでもその威力を発揮したそうです。

参加者一同スケールの大きさに驚くとともに、感嘆の声がもれていました。また、地下神殿は、



< 地下神殿内部 >

ロケ地としても利用されているとのことでした。

◆視察後、一同はさいたま市にある鉄道博物館を訪れ、鉄道の歴史を学んだり、若かりし頃お世話になったSLを始めとした車両を見たり、乗ったりして、短い時間でしたが暫し童心に帰ってきました。



## ■ 第42回ボウリング大会開催

総務企画部会主催の第42回ボウリング大会は2月12日、宇都宮ゴールドレーンで開催しました。過去最高となる16社88名の参加があり、30レーン中22レーンを使っての大会となりました。

また、女性グループ2チーム、女性参加者31名はこれまでで最多数でした。

各チームともストライクやスペアのたび歓声が沸き、和やかな雰囲気の中親睦が図られました。

優勝は、スコアー1211点(2ゲーム)というハイレベルのメンバーを抱えた(株)ショーワの加藤、木川、伊東、三上チームでした。

準優勝はホンダエンジニアリング(株)の大野、横森、吉川、長谷川チーム、3位は(株)ホンダテクノフォートの綾部、綾部、橋本、種子田チームでした。

豪華賞品の提供は、(株)ホンダテクノフォート様、AGC オートモーティブウインドウシステムズ(株)様、大星電機(株)様、(株)オートテクニクジャパン様、(株)協永堂印刷様、日本梱包運輸倉庫(株)様、(株)今仙電機製作所様、(株)ベストロジ栃木様、本田技研工業(株)様、ホンダエンジニアリング(株)様、(株)ショーワ様、(株)本田技術研究所様、サンクレール(株)様、ホンダ開発(株)様でした。誠に有り難うございました。



<優勝した(株)ショーワチームの皆様>

## 芳工連日誌

### 【2月の実績】

- 5日 企業視察
- 12日 第42回ボウリング大会
- 26日 資源ごみ回収
- 27～ 企業の人材育成研修
- 28日 体験モニターツアー

### <お知らせ>

3月1日から15日まで新規の施設貸出しは中止いたします。利用の際はマスクを着用ください。

### 【3月の予定】

- 2日 知事との意見交換会(延期)
- 3日 総務企画部会
- 5日 環境整備部会
- 6日 安全衛生部会
- 11日 交通防犯部会
- 19日 第4回役員会
- 25日 資源ごみ回収
- 25日 芳賀町ゴルフ連盟総会
- 26日 芳賀町交通安全対策連絡協議会
- 26日 団管連第4回幹事会